隣の八重ちゃん（1934）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 79分
初公開日 1934/06/28

【解説】
島津保次郎が原作・脚本・監督を務めた代表作の一つ。小市民の日常を切り取ったドラマで、その年のキネマ旬報ベスト10で2位に選ばれた。助監督として豊田四郎と吉村公三郎が参加している。
東京の郊外。隣り合う二軒の家に、八重子と恵太郎が暮らしていた。八重子は女学生、恵太郎は大学生で、二人は兄妹のように仲が良かった。ある日、八重子の姉の京子が、嫁ぎ先から出戻ってくる。どうやら京子は恵太郎に気があるらしく、本人に言い寄ったりしている。密かに恵太郎に思いを寄せていた八重子は、二人の間柄が気になり始めて…。

【クレジット】

監督	島津保次郎	
原作	島津保次郎	
脚本	島津保次郎	
撮影	桑原昴	
美術	脇田世根一	
作詞	大木惇夫	
作曲	早乙女光	
指揮	高階哲夫	
助監督	豊田四郎	
	吉村公三郎	
	清舗彰	
	佐藤武	
出演	逢初夢子	八重子
	岩田祐吉	八重子の父・服部昌作
	飯田蝶子	八重子の母・浜子
	岡田嘉子	八重子の姉・京子
	大日方伝	恵太郎
	水島亮太郎	恵太郎の父・新海幾造
	葛城文子	恵太郎の母・杉子
	磯野秋雄	恵太郎の弟・精二
	高杉早苗	真鍋悦子
	阿部正三郎	ガラス屋

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.